WORK PLACE MANAGEMENT
さんい

熱意 誠意 創意

JHSK
日野サービス興業㈱
発行責任者
本社　村岡　将企
（熱中症対策責任者）
さんい製作委員会

令和6年6月14日発行
第２０４号

スポットライト

「ていねいに生きる」とは、
自分に与えられた
試練さえも、両手でいただくこと。

すすんで人のために自我を殺すことが、
平和といのちを生み出す。

渡辺和子「置かれた場所で咲きなさい」より抜粋

一つ拾えば一つだけきれいになる

掃除から学ぶ

さんいでも毎号、紹介している鍵山秀三郎先生の「一日一話」に、こんな一節があります。「『ひとつ拾えば、ひとつだけきれいになる』（中略）具体的には、足元のゴミを拾う実践から始めることです。ゴミを拾う人は、不思議とごみを捨てないものです。足元のゴミひとつ拾えぬほどの人間に何ができましょうか。」この言葉は、仕事の上でも大切なことです。足元の問題から一つ一つ、確実にこなしていく。地道な作業が、大きな成果につながっていくということです。青梅部品センターでは、三カ月に一度、一斉清掃が継続的に実施され、今月十二日にも行われました。また、本社でもこの精神を学ぶために、十四年前の二〇一〇年から月に一度、ボランティアとして地域の清掃活動を続けています。小さな貢献かもしれませんが、こうした清掃活動を通じて、多くのことを学ぶことができます。清掃活動に参加されているみなさん、お疲れさまです。

青梅センター周辺にて暑い中おつかれさまでした

本社ボランティア清掃活動の様子

避難訓練

五月二十九日（水）羽村工場にて、六月十四日（金）青梅部品センターにて、それぞれ避難訓練が実施されました。羽村工場では、「自分の身は自分で守る行動を身につける」「震度４以上で確実に避難行動をとれる体制づくり」をキーワードに訓練が行われ、みなさん迅速に避難場所へ避難することができました。また、当日はＡＥＤ訓練も実施され、呼吸の確認、胸骨圧迫、人工呼吸など、ＡＥＤの使用方法について、一連の手順を実演していただきました。ＡＥＤは、一分以内の使用で生存率が九十％以上に達します。迅速な対応が生死を分けるということを学ぶことができました。

AED訓練の様子

本社ＩＳＯ認証審査を終えて

六月七日（金）、本社にて取得しているＩＳＯ１４００１維持審査が行われました。ＩＳＯ審査では、環境リスクの低減および環境への貢献を目的として、企業の活動が環境（自然・人・物）に悪い影響を与えていないか、もし与えているのであれば改善するためのシステムを構築することが求められます。このＩＳＯの取り組みにより、私たちは環境への配慮をしつつ、日々の業務の改善点に気づき、省エネや省資源による経費削減、業務効率の向上などにつなげていくことができます。審査では、その取り組みがしっかりと運用されていることが認められました。

審査の様子

現場Channel

他社災害情報

直近の災害事例を展開いたします。

フォークリフトによる災害事例

フォークリフト運転者とその補助者一名で、大型トラック荷台にキャブの積み込み作業をしている際に、補助者がリフトと荷台の間に挟まれた事例がありました。この補助者はフォークのエンジン停止を確認せずに、サヤ爪の外れ止めを外そうと荷台とフォークの間に入ってしまい、さらに、運転者がエンジンをかけたまま駐車ブレーキをかけずに運転席を降りようとしたため、フォークが誤発進し、補助者が荷台とフォークの間に挟まれ被災しました。誘導作業や補助作業は、エンジン停止を確認してから行動するように徹底してください。また、運転者においては、段取りや確認で降車する時は、エンジン停止、駐車ブレーキを徹底してください。

豆知識

「梅　雨」

六月に入り、今年も梅雨のシーズンとなりました。梅雨の語源は中国とされており、春と夏の間に雨が降り続くこの時期に、梅が熟すことにちなんで梅雨と呼ばれるようになりました。また、この時期は気温が高くなくても湿度で熱中症になりやすいため健康管理に気をつけましょう。

お知らせ

定額減税

今月（六月）支給分の給与より、納税者本人と扶養家族を対象に、年間一人当たり、所得税三万円、住民税一万円が減税されます。

今月の行動指針

六月の行動指針は、「身だしなみに気をつけましょう」です。

一日一話

自然農法

掃除をすると、不思議と会社の雰囲気が変わっていきます。社員の意識が変わっていきます。日常の不平不満が感謝に変わります。

掃除をすると、自然農法で育った農作物みたいになるんだと思います。自然農法か化学農法か、作物を見ただけではわかりません。しかし、確かに味が違う。もちが違ってくるのです。掃除にもそんな力が秘められております。

鍵山秀三郎「一日一話」より抜粋

裏面へ
▶